

2017年中のドライブレコーダーの出荷台数は2,123,633台でした。では、2020年中の出荷台数を次の中から選んでください。

- ①2,545,276台
- ②3,545,276台
- ③4,545,276台

(答えは裏面)



TOKIO MARINE
NICHIDO

ドライブレコーダーの映像を活用しよう

車にドライブレコーダーを搭載していますか？「あおり運転や交通事故の証拠のため」と搭載したまま映像を見返していない方が多いのではないのでしょうか？

今月は、ドライブレコーダー搭載車の映像の活用状況を通し、映像を安全運転につなげる活用方法についてみてみましょう。



国土交通省のアンケート調査で、「ドライブレコーダーを搭載していますか？」の問いに、約54%の人が「搭載している」と答えています(図1)。では、ドライブレコーダーをどの程度活用できているのでしょうか？

「ドライブレコーダーの記録を活用されたことはありますか？」と聞くと「ない」が約8割と設置してもあまり記録を利用していない様子がうかがえます(図2)。一方、「ある」と回答した約2割の人に「ドライブレコーダーの記録をどのように活用しましたか？」と聞くと、「事故に遭った際の客観的証拠」の回答が最も多く、年代別にみるととくに60代では6割近くを占めています(図3)。次いで「録画した旅先の景色を見返して楽しんだ」という回答が多くなりました。70代以上では、「自分の運転やくせを録画再生することで安全運転の意識を高めた」が6割近くあり、ドライブレコーダーの記録を見直すことにより安全運転を持続させようと努力している様子がうかがえます。

ドライブレコーダーは事故時の記録としての使い方だけでなく、ドライブ時の景色を後でゆっくりと鑑賞する「楽しみ」や自身の安全運転の「点検」等幅広い活用ができるようです。

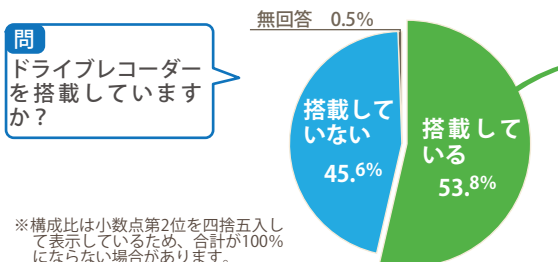


図1：ドライブレコーダーの搭載率

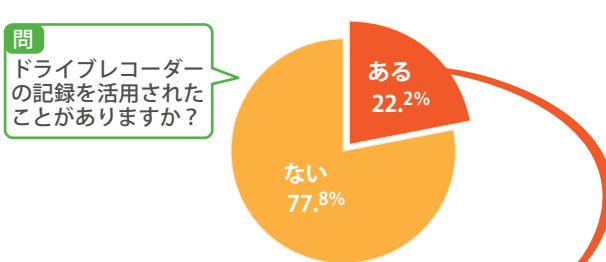


図2：ドライブレコーダーの活用状況

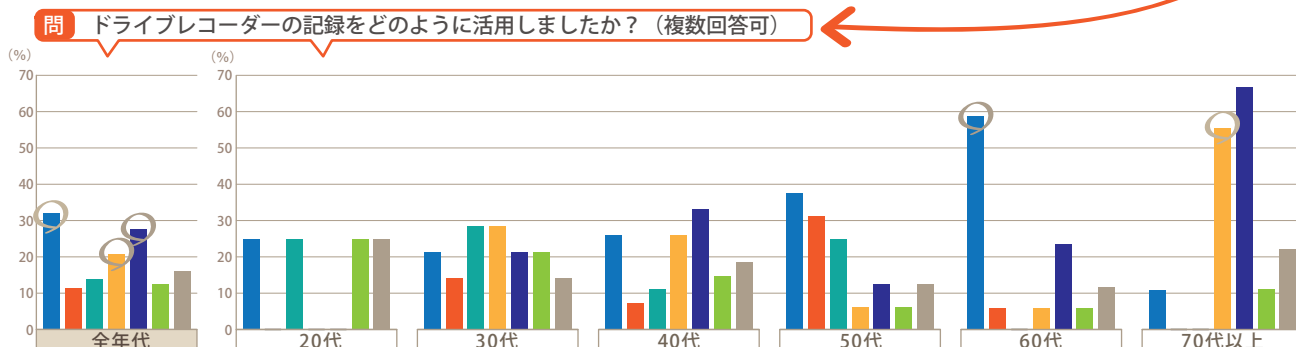


図3：ドライブレコーダーの活用実績(年代別)(複数回答可)

図1～3出典：国土交通省 自動車局 令和2年12月「国土交通行政インターネットモニターアンケート 自動車用の画像記録型ドライブレコーダー装置について(令和2年10月13～26日実施)」より弊社作成



ドライブレコーダーを活用しよう



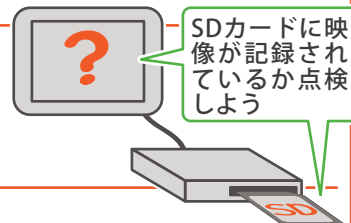
ドライブレコーダーの技術は日々進化しており、360度の撮影ができるカメラ、鮮明なカラー映像や音声の収録、24時間常時記録可能な機器の登場で、あおられたときや事故時の状況を克明に記録できるようになりました。また、カーナビゲーションとの連動や、Wi-Fi等を使いスマートフォンに映像を送るなどして、その場ですぐに映像を確認できる機種もあります。高性能になったドライブレコーダーの使用時の注意点や活用方法についてみましょう。

ドライブレコーダーを使用するときの注意点

ドライブレコーダーは、急ブレーキや事故などの衝撃を感知したとき、その前後10秒ほどの映像を保存するため、事故時の証左となることがあります。

① 記録媒体（SDカード）に映像が記録されているか点検しましょう

記録媒体（SDカード）自体の異常や、長期間の使用で消耗し映像が正常に記録されないことがあります。SDカードに映像が記録されているか定期的に点検しましょう。少しでも異常があったら機器の仕様に合ったSDカードと交換しましょう。



② 事故にあったら、安全な場所に移動し、事故時の記録を保護しましょう

ドライブレコーダーは、数時間（商品により差異があります）で映像を上書きして記録を更新しています。事故に遭遇した場合は安全な場所に移動し、ドライブレコーダーの電源を切るなどして上書きを防止し、記録を保護しましょう。

事故時は安全な場所に移動し、映像記録を保護しよう

収録した映像を見返して安全運転に活用しよう

ドライブレコーダーに収録した映像は、SDカードに対応したパソコンやテレビ等で再生できるので、運転中に観ることができない美しい景色や季節の移り変わりを、自宅でゆっくり楽しむことができます。さらに、映像を通し自分の運転を客観的に見ることができるので、安全運転の意識が変わるきっかけになります。収録した映像は時々見返してみましょう。

● 人や車の多い市街地での運転の映像を見返してみましょう

運転の映像を見返すと、「こんなところに人がいたっけ?」「ブレーキを踏むのが遅れてる?」「車線の左に寄って走行している?」など自身の運転のくせに気付くことがあります。風景の良い郊外の映像もよいですが、人や車の多い市街地での運転の映像を見返し、安全運転に役立てましょう。



運転の映像を見返して、安全運転に役立てよう

ドライブレコーダーエージェント パーソナル(DAP)をご活用ください

車にドライブレコーダーが装着されていない場合は、「ドライブレコーダー エージェント パーソナル」(DAP) のご活用をおすすめします。本機器は常に走行を録画（自動で上書き）するとともに、衝突など強い衝撃を検知した時は、自動で事故受付センターに連絡します。また、車線を逸脱しそうになったり前の車に近づきすぎたり、運転中にわき見などしたりした場合は、音声と画面表示で警告することで事故を防止します。あおり運転など危険な運転行為を受けているときにはオペレーターを呼び出し、適切なアドバイスを受けることができます。さらに、急アクセルや、急ブレーキ、急ハンドルといった運転操作の履歴も記録し、自身の運転が安全か診断を受けることができます。



ドライブレコーダーの映像記録は、あおり運転や事故時の備え以外に、収録した映像を見返して風景を楽しんだり、自身の運転を客観視したりすることができます。ドライブレコーダーの映像を、楽しみや安全運転に活用しましょう。

今月のクイズの答え

③4,545,276台(2倍強) 出典:一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人ドライブレコーダー協議会「ドライブレコーダー国内出荷実績」より
2017年6月東名高速道路であおり運転が起因となった夫婦死亡事故、2019年8月常磐自動車道での悪質なあおり運転の映像等により、ドライブレコーダーの需要が高まっているようです。

ご用命・ご相談は...



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL www.tokiomarine-nichido.co.jp

担当営業課